



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

カット 柴田 健

OCTOBER, 1989 VII-4

1989-1990		THEME
IP	ささげつくす ワイズメン	LET'S BE DEDICATED Y'S MEN
RD	ひとつとなってYMCAへ	HUMAN NETWORK TO THE YMCA
DG	初心に帰れ	
CP	明るく愉快地にクラブライフを	

EMPHASIS THIS MONTH: JAPAN... IBC・YEEPの月

今月の聖句

あなたがたは、神に愛されている子供として、神にならうものになりなさい。また愛のうちを歩きなさい。キリストもあなたがたを愛して下さって、わたしたちのために、ご自身を、神へのかんばしいかおりのささげ物、また、いけにえとしてささげられたのである。

エペソ人への手紙5章1-2節

Statistics(統計)

会員数	33名
第1例会会員出席	16名
第2例会会員出席	13名
メイクアップ	3名
出席率	57.58%
ゲスト&ビジター	4名
メネット&コメント	2名

1989年9月BF報告

BF	現金	切手
9月	900	4,800Pt
累計	1,800	31,200Pt

9月の切手提供者：山村君（山村メネット）、山田君、黒田君、掛江君、谷川君、隅田君、鈴木君、杉浦君、佐藤君、柴田君、松本君、堀君、松尾君、上月君、湯浅君、YMCA奉仕センター

8月分追加：上月君

10月第1例会プログラム

(今月のテーマ：IBC・YEEP)

日時 1989年10月18日(水) P.M.6:30-8:30

場所 堂島YMCA国際社会奉仕センター

司会		平田君
1.開会		山村会長
2.ワイズソング		一同
3.聖句朗読		湯浅君
4.ゲスト紹介		山村会長
5.日々の糧		一同
6.晚餐		
7.入会式	隅田 保君	山村会長
8.スピーチ		
	「損害保険あれこれ」	スピーカー 藤原正巳君
9.アジア大会報告		鈴木謙介君
10.お誕生日祝い		
11.ニコニコ献金		ドライバー
11.役員会・委員会報告、YMCAニュース		
12.閉会		山村会長

今月の例会当番

第4班：平田、湯浅、松尾、河野、藤本の皆さん
 準備、後かたづけ等ご協力お願いします。

10月第2例会(役員会を兼ねる)

日時 1989年10月25日(水) 午後6:30-8:30

場所 堂島YMCA国際社会奉仕センター

我々は、アジアの国々についてどれだけ知っているのだろうか？結局何も知らないのではないだろうか、と感じさせられた今月の例会でした。

バングラデッシュが元、東パキスタンと呼ばれたところだということは知っていました。ときどき洪水で大変な被害が出る場所だということも新聞やテレビで見ることがありました。しかし、それ以上の事はあまり印象がない国でした。今回畑野めぐみさんのお話で多くのバングラデッシュの事を知ることが出来たのは幸いでした。それは、一人当りの所得が日本の100分の1であることや、50%の人たちが常に失業状態にあることや、人口密度が日本と比べものにならないくらい高いという事などです。それに、生活の苦しきのしわ寄せが女性に来ているので「食用に虫を取る女の人」や「古着をほどこいて再び編んで売る女の人」「義務教育はなく、子供達の教科書文具代に困っている」ひとたちがたくさんいるということなどを紹介していただきました。現地ですっかり生活をしてその状況を見つめてこられた畑野さんならではの話しで大変説得力がありました。

畑野めぐみさんは、JOCs（日本キリスト教海外医療協力会）の医師としてバングラデッシュでハンセン氏病と戦っておられる畑野研太郎氏の奥様で、小さなお子さん二人をつれてバングラデッシュにおける御主人の働きを支えて来られた方です。日本でこそハンセン氏病は殆どみられなくなったようですが、世界では1200万人から1500万人の患者がいるということでもまだまだ、大変な病気との戦いがなされているようです。畑野姉の話を伺った後は、御主人のお働きを紹介したスライドが映写されました。

ハンセン氏病は神経を犯す病気だそうで、そのために、感覚（知覚）がなくなり、傷を受けてもその痛みが無いので結局は切断せざるをえなくなり後遺症が残ることになるそうです。

スライドが終わってからの質問でも、JOCsについてや、ハンセン氏病、日本からの援助（ODA）についての熱心な討議がなされました。援助は沢山なされるが、それは、血の通り援助になっていなくて、現地の貧しい人たちに犠牲を強いているという畑野姉の言葉が印象的でした。ところで、今回の例会にはデンマークからのYEEP留学生グーダム君が来てくれました。人なつっこい笑顔が印象的な好青年です。日本の生活を楽しみ、さまざま経験しているようです。これからも日本の事をいっぱい知ってほしいものだと思います。

以上

HAPPY BIRTHDAY

山村 利子メネット	10. 9
藤本 まち子メネット	10. 20
湯浅 充章君	10. 30

私達の香港のブラザー・クラブ、ボヒニアクラブがチャーター10周年を迎えます。会長のエルシイ・チュンさんに代わって、書記のY. Y. チュンさん（いずれも勿論女性）から届いた招待状によりますと来る10月21日（土）に香港アパディーンンの香港マリナ・クラブにて、バンケットを開催するそうです。夕食にはマジックショー、カラオケ、くじ引きと多彩なプログラムが用意されています。きっと前回の私達の訪問の時と同じような盛大なものとなるでしょう。（連絡網にて一部御案内された筈です）お祝いのメッセージを会長と私の連名で出しました。

谷川 寛

YMCAニュース

YMCAニュース

「留学生・えいど 89」

平素は、当YMCA国際・社会奉仕センターの諸活動に対し、暖かいご理解、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、恒例の「留学生・えいど」も本年度で、第4回を迎えることになりました。年々より多くの方々よりご協力を頂けるようになり、関係者一同心より感謝いたしております。おかげさまで、現在10名以上の大阪YMCA国際専門学校生が奨励金を受け、勉学に励んでおります。また、リサイクル部門へご寄贈頂きました各品物も、それぞれ日常生活の場において活用されており、学生たちよりも多くの感謝が寄せられております。

さて、下記要領にて計画いたしております今年度「留学生・えいど'89」では、バザー部門の売り上げ純益を 1) 従来奨励金への補填、2) 国際交流劇団「EN」への活動援助、3) 「留学生110番基金」設立準備金に充てたいと願っております。

以上、運動の主旨にご賛同頂き、ご協力を頂きますよう、プログラム担当者一同、心よりお願い申し上げます。

記

I リサイクル部門

10月16日（月）～11月18日（土）の期間に再活用可能な生活用品（毛布、掛けふとん、こたつ、電気ストーブ、テレビ、小型冷蔵庫、小型本箱等）や、学習関連用品（国語辞典、漢和辞典、英和・和英辞典、日本語図書、電気スタンド等）をご寄贈ください。留学生に供与致します。

II バザー部門

11月18日（土）正午～4時のバザーにて販売致します品物（食器類、酒類、洗面用品、料理用品、文庫本等）の献品をお願い致します。

事前販売のお願い

当日会場では、この事業に特に協力して提供を受けた

品物を格安で販売しますが、そのなかで同封のカタログの食品については、皆さんのお知合いにもお勧めいただいて事前の予約販売にご協力お願いいたします。市価との比較については、ご婦人方は充分ご承知と思いますが、スーパーなどより1~2割安くなっています。

ショッピングバッグ提供のお願い

百貨店やスーパーでのお買い物時の紙袋や、ビニール袋でご家庭にたまっているものをご提供下さい。バザーでのお買い上げ品を入れるのに使いたいと思います。

前日・当日の労力奉仕のお願い

バザー前日・当日のお手伝いに一人でも多くご奉仕を期待しています。時間的にパートタイムでも結構です。



お知らせをいくつか

中西部が今年は12月に

旧中西部が新中西部と阪和部に別れて初めての、新中西部の部会が12月10日大阪クラブのホストで行われます。場所は土佐堀にある大阪YMCA会館です。どうぞ、皆様の手帳にマーク！しておいて下さい。

日本区大会が来年6月に

来年の日本区大会は北海道は札幌で行われます。北海道の一年のなかでもっとも素晴らしい季節6月です。(今年6月の北海道を経験した掛江が保証します。)大挙して行く(?!)センチアルのメンバーの為に松本メンが目下ツアー計画中です。大会以外の観光も計画に入っていると聞きます。これも来年のスケジュールにマーク！しておいて下さい。

出席のお返事を!

例会の少し前にメンバー各位に出欠確認の葉書を差し上げておりますが、その回収率が思わしくありません。どうか全員の返信用葉書が返ってきますように。その結果によって食事の手配をしておりますので、よろしくお願ひします。また出席の返事を出して、例会に遅れる時はYMCA国際奉仕センターまで電話をお願いします。連絡無き時は午後7時半を過ぎますと、食事は無いと思って下さい。

私のファミリー

今月の私のファミリーは都合によりお休みさせていただきます。

ブリテン探訪

掛江康一

今回は、ブリテンの目的と内容について少し書いてみましょう。

1. ワイズスピリットの高揚、啓発的な記事
2. 各種集会、行事、事業の予告、報告、参加アピール
3. 国際、エリア、区、部、YMCA関係の情報
4. 出席率、BF等の記録
5. 会員個人の情報
6. 聖句
7. 国際会長、日本区理事(アジア会長、部長)の標語

これは「書記の心得」という日本区からの資料から抜き書きました。

また、ブリテンコンテストというのがあることは、皆さんご存じでしょうが、その判定基準表を見ると、上の事以外に「会長の主張、方針が述べられているか」

「ワイズのサービス事業の解説、成果の報告は」

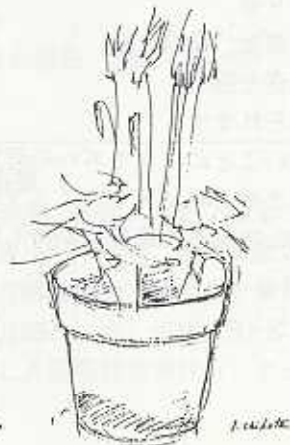
「メネット会の活動報告は書かれてあるか」

「海外ブラザークラブとの交歓記事はあるか」

「海外ワイズメン家族その他の交歓の記事は」

などなどあります。

これからも、皆様のワイズメン活動により役立つブリテンにしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく(特に原稿を依頼したら快諾してくださいませよう)おねがいします。



THE CENTENNIAL

9月分ニコニコメッセージから(抜粋)

畑野夫人のお話に感動して

黒田敬之

畑野姉の感動的なお話、ありがとうございました。いつも、避けていたいと思っていることを見せつけられた思いです。

杉浦眞喜子

畑野さんの卓話に感激して

山村幸明

畑野さんのバングラデッシュのお話に感謝して

山村利子

畑野夫人の話によって、JOC Sの働きについてももう一度、もっと知ることが出来て感謝します。

鈴木謙介・美藤

日本の豊かな生活に感謝

湯浅充章

畑野さんありがとうございました。

松本常見

畑野さんのスピーチに感謝。南YMCAの竣工オメデトウ!

藤本史朗

若干の遅刻を反省します。バングラデッシュの現状を紹介して下さいました畑野さんに感謝します。

掛江康一

中西部EMC連絡会から

—出席率向上の為に—

(中西部通信No.3 Jul.1989より)

昨年度の出席率90%を越える優秀クラブ紀の川の永井さんと和歌山の川口さんによると出席率向上のための方策として

- ・良好な人間関係づくり
 - ・遊びのプログラムの組合せ
 - ・例会出席への電話呼びかけ
 - ・新入会員への積極的な働きかけ
 - ・例会後のダベリ会
 - ・イベントへの参加、役員分担
 - ・メネットの活発な協力
- などをあげておられます。

例会に参加しないことにはワイズへの理解も積極的な姿勢も出てまいりませんね。メークアップ等も含めた形で、の会員の積極的な出席への意欲に期待したいものです。

ワイズソング

—1—

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing,
We raise our hand, our service pledge renewing.

Ne'er to deny our motto's claim
Y's Men in fact as well as name

Always our objects to pursue
We consecrate ourselves a new

—2—

うたえば ころろひとつに
ともがき ひろがりゆきて

とおきも ちかきもみな
ささげて たつやY's men

さかえと ほまれゆたか
まことは むねにあふれん

